

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

### ●気象観測等支援システム「Paddy Watch」活躍中！

コンソーシアム特別会員の大和リース株式会社様からご寄附いただいた「Paddy Watch」（パディウォッチ、かわら版第2号で紹介）について、コンソーシアムから森林文化アカデミーへ貸し出し、森林環境の変化等の観測に活用を開始しました。

具体的には、多治見市内のシデコブシの自生地にて6台設置して、湿地環境の改善のために樹木を伐採した後の水温・水位の変化を計測しています。日々、水位等の変化が確認できており、今後、季節単位・年単位での湿地環境の変化を追跡していきます。

その他、関市内のハンノキ林の整備に伴う生態系の変化を明らかにするため、伐採後の休耕田に設置して水温・水位の変動を計測する予定としているほか、原木栽培マイタケや有用菌根性きのこの発生時期を明らかにするため、気温・地温の変動を計測する予定としています。

コンソーシアムでは、この機器を会員に無料で貸し出していますので、会員の皆様の中でも、この機器を使用してみたいというご希望がありましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。



### ●(株)クボタから寄贈いただいた農業用トラクタの活用検証事業が始まりました

コンソーシアム特別会員の(株)クボタ様からご寄附いただいた農業用トラクタを、会員である美濃加茂市様へ貸与し、林業分野での活用方法を検証する事業を開始しました。

現在、実施しているのは、竹林などの里山林で、どのような活用ができるのかを検証しています。

最初の活動として、5月13日に美濃加茂市と中部電力(株)との企業連携による里山林整備の現場にて、伐採した竹の運搬について検証しました。

これまでは、山の中から伐採した竹を一人1～2本ずつ運ぶのがやっとでしたが、トラクタを使うことにより、一度に30本も搬出することができ、参加者からは歓声があがっていました。

今回の検証では、走行場所が平地及び舗装路なら、集材作業に充分活用できることがわかりました。

今後も、継続して検証事業を行い、その結果をまとめて農家が保有しているトラクタを、農繁期は農業、農閑期は里山林と1年を通じて活用できる方法を提案したいと考えています。

活用方法についてご提案がありましたらお気軽に事務局までご連絡ください。



コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）  
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529  
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com